

社会科の学習に資料を使おう

～年鑑の使い方を知ろう～

5年 社会
「日本の農業」
利用指導

ねらい

- 社会科資料には様々な資料があり、標題、単位、出典、調査年等に気をつけて情報収集することが大切であることが分かる。
- 年鑑の使い方を知り、目的に応じて目次と索引を使い分けることができる。

学 習 展 開

- ① 前学年までに既習した参考図書（図鑑、辞典、百科事典、白書、ファイル資料等）を確認する。
- ② 各種の年鑑を紹介し、興味づける。
- ③ 司書教諭は自作のパワーポイント教材を使って年鑑の使い方を指導する。児童は朝日ジュニア学習年鑑を一人ずつ持ち、実際にページを開きながら確認する。（目次 索引 大項目 中項目 小項目 標題 単位 統計年 出所の指導）
- ④ 児童は年鑑を使って調べ、ワークシートに記入する。
- ⑤ 使い方に不慣れな児童に対しては、担任、司書教諭、学校司書が個別に支援する。

図書館タイム 年鑑の使い方を知ろう

月 日 5年 組 名前

年鑑 年鑑とは、いろいろなことを年ごとに調べて、できごとや統計がまとめた便利な資料です。

(1) 各都道府県の米の取れ高を調べましょう。
①どこに書いてありますか？目次と索引の欄からページをさがしてみよう。

目次から	大項目	中項目	小項目	ページ

② 手元にある年鑑の一番最近の米の取れ高を調べましょう。

都道府県名	とれ高(万t)	都道府県名	とれ高(万t)
北海道		福島県	
新潟県		東京都	
鳥取県		米の取れ高、日本の都道府県は()	

③ 次のことを年鑑を使って調べましょう。

調べることから	1位	2位	調査年
トマトの取れ高の順位(都道府県別)			年
りんごの取れ高の順位(都道府県別)			年
みかんの取れ高の順位(都道府県別)			年

④ 鳥取県のことを「日本」→「わたしたちの郷土」の項目から調べましょう。

人口(調査年)	年	主な特産品(2つ以上)
県の水		
県の鳥		
県の花		

◆ワークシートがずんだ人は「朝日ジュニア年鑑」を読んでみましょう。

年鑑指導のワークシート

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、朝日ジュニア年鑑を1グループごとに6冊（発行年の異なる冊子）ずつ、最低でも一人に1冊準備する。（公共図書館や近隣の学校と連携）
- 学校司書は図鑑、百科事典、各種年鑑を準備する。
- プロジェクター・実物投影機等の準備を行い環境を整える。
- 司書教諭は年鑑の使い方指導のパワーポイント教材とワークシートを作成する。
- 司書教諭がT1、担任がT2、学校司書がT3として年鑑の具体的な使い方指導をする。
- グラフや表の読み方を個別に読み取る時に支援が必要と予想される事柄について、事前に担任・司書教諭・学校司書で打合せをしておく。

資料

ポプラディア（ポプラ社）、各種の図鑑・白書・国語辞典、天文年鑑（誠文堂新光社）、ニュース年鑑（ポプラ社）、図書館年鑑（日本図書館協会）など各種年鑑、朝日ジュニア学習年鑑（朝日新聞社）